

## 1人1台端末を活用した教育の充実

中核校 恵庭市立恵み野中学校 指定校 恵庭市立恵み野小学校、恵庭市立恵み野旭小学校

### 実践前の状況

- ・1人1台端末を活用した授業改善に向けて、教職員のICT活用指導力に差が見られた。
- ・児童生徒が1人1台端末を効果的に活用するため、中核校及び指定校での仕組みづくりについて共通理解を図る必要があった。

### 実践の概要

#### 算数科専科教員による小中連携の推進

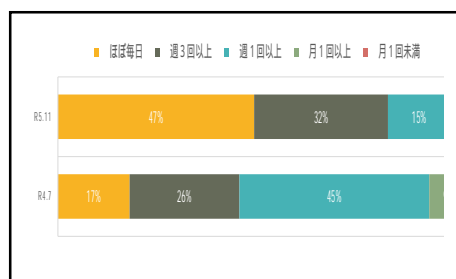
- ・中核校に配置された専科教員が、指定校の小学校第6学年で行う算数科の授業において、中学校と小学校2校の学習規律等を照合し、共通項目を整理することにより、中学校への円滑な接続を図った。
- ・専科教員の授業において、課題解決を図るため、児童が様々な場面で1人1台端末を活用し、目的に応じて学習活動を選択できるよう、指導過程を工夫した。



【専科教員による端末を活用した授業】

#### 教職員のICT活用力向上の推進

- ・「教員のICT活用指導力に係るアンケート」を中核校及び指定校の全教職員に実施することにより、各学校の現状と課題について共通理解を図った。
- ・ICT端末の活用におけるステップ3の到達に向けて、専科教員の実践事例を交流するとともに、授業公開や校内研修を通して、教職員のICT活用指導力の向上を図った。



【中核校の授業でのICT機器使用率の変化】

### 実践の充実に向けた取組の工夫

#### 〔校長の取組〕

- ・各教科等の授業観察を通して、授業におけるICT活用及び指導の取組の好事例を授業者だけでなく、全教職員に周知することにより、教職員のICT活用に対する意欲の向上を図った。
- ・長期休業中に中核校及び指定校の教頭、専科教員との座談会の開催を指示し、取組の成果と課題について交流を行った。

#### 〔専科教員の取組〕

- ・児童の疑問等から各単元の学習課題を設定するとともに、課題解決に向けてどのように学習を進めるか考えさせるなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を推進した。
- ・児童が小学校算数科と中学校数学科のつながりを意識できるよう、算数科の指導計画を改善した。
- ・小学校の学級担任が専科教員の授業を参観する機会を定期的に設けることにより、進度の確認や学習規律、児童の様子などについて協議する機会を確保した。

成果（ ）と今後の課題（ ）

専科教員の実践事例の交流や授業公開を通して、学習における1人1台端末の活用方法について教職員間で共通理解を図るとともに、1人1台端末を効果的に活用した授業改善を推進することができた。

〔中核校の生徒アンケートの「受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用したか」の項目について、「ほぼ毎日」「週3回以上」の回答が増加した。(R4:43% R5:79%)〕

ICT端末等の活用に向けてステップ3を目指し、小・中学校が連携しながら日常の実践に直結する研修を推進する必要がある。